西胆振地域連携研修･法人内研修　実施報告書

研修名	令和５年度入社職員フォローアップ研修（3ヶ月編）

対象者	令和５年度新人研修受講の職員
日　程	令和５年７月 24 日（月）～25 日（火）
会　場	高齢者ケア研修センター　財田の杜

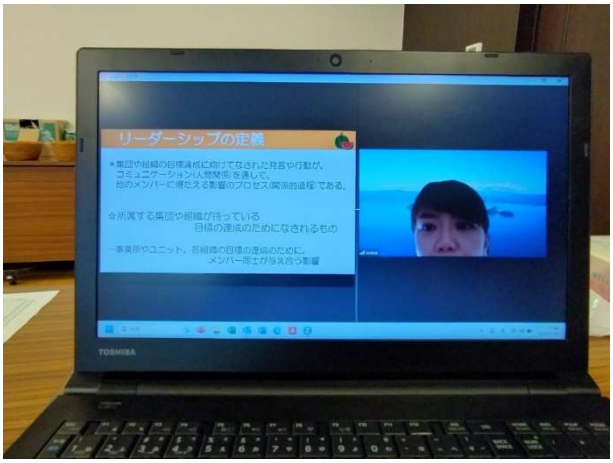
研修のねらい

入社から３ヶ月が経過した中で新人研修で習得した知識や技術を確認する機会とし、介護職員として更に実践力を高めることができるようフォローアップします。また、参加者個々が、仕事の内容や状況を相互に情報交換し、互いの理解を深める中で自己や仕事に対する悩みや戸惑いを払拭し、仕事に対する姿勢、仕事へのモチベーションを高める機会とします。

研修プログラム

時間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
1 日目				
9:00～10:30（90 分）	法人理念と職業倫理	講義 演習	クアリゾート 453） 室橋生活相談員	理念の理解、援助者の基本態度や秘密保持、利用者の主体性、人権の尊重、専門性の向上など、福祉専門職として必要な職業倫理について学びます。（組織体制チェックリスト項目にも該当）
10:40～12:10（90 分）	メンタルヘルス	講義 演習	幸清会） 岩佐臨床心理士	入社から3か月が経過し、日々の業務が忙しい中で自身の心や考え方を振り返る時間は多くありません。研修という場を活用し明日からもいきいきと活躍できる心と身体を整える機会とします。ストレスに早く気づく方法、ストレスを緩和するリラクゼーションやコミュニケーション方法、セルフケアに効果的な実践スキルを習得します。
13:00～14:30（90 分）	認知症ケア	講義 演習	GH 来夢の杜大宮） 杉谷施設長	認知症という病気やその心理について正しく理解する。認知症に伴う行動・心理症状を理解するうえで、利用者個々の心身状態を丁寧にアセスメントし、個々の状況に即したケアについて学びます。
14:40～16:00（90 分）	信頼関係を築くコミュニケーション	講義 演習	DS）幸豊ハイツ 別紙所長	私たちは、専門的な知識や技術のほかに高度なコミュニケーションスキルが必要です。利用者様だけではなく、ご家族様とも信頼関係を築くために、社会人として求められる接遇やマナーにおいて、今回は電話連絡に焦点を当て、事例・実践を通してポイント・注意点などを学びます。
2 日目				
9:00～10:30（90 分）	身体拘束等の適正化と高齢者虐待防止	講義 演習	幸楽園） 鈴木生活相談員	高齢者虐待防止法・身体拘束廃止の基本的理解を深めるとともに、施設内での虐待や不適切なケアを防止するために必要な取り組みについて学び、また身体拘束廃止に向けた実践的スキルの習得を図ります。
10:40～12:10（90 分）	高齢者に多い疾病と緊急時の対応について	講義 演習	大原の杜 2016） 碁石看護師	いざという時に慌てず冷静に対応できるよう高齢者に多くみられる疾病について理解を深め、緊急時の対応と医療行為について学びます。
13:00～14:30（90 分）	リスクマネジメント【事故防止】	講義 演習	老健湘南） 高橋ケアワーカー	日常生活場面で起こりうるリスクを洗い出し、日々の支援の中で自身がどのような役割を担うことが事故の発生予防や事故発生後の迅速かつ適切な対応につながっていくかを考えます。

14：40～ 16：10 （90 分）	介護技術向上 【移乗・体位交換編】	講義 演習	財田の杜） 吉田生活相談員 兼ケアワーカー	日常生活を援助する上で必要な介護技術の基礎知識について確認します。今講義では介護の中でもリスクが高いと言われる移動介助の正しい方法について実技を交え再確認・技術を向上する機会とします。また、福祉用具についても確認します。
16：10～ 17:00 （50 分）	筆記テスト 振り返り	講義 演習	財田の杜） 吉田生活相談員 兼ケアワーカー	新人研修で学んだ知識、終了した後の３ヶ月の業務をとして学んだ知識や技術の再確認。また全体でのふり返りを行い、職員としての心構えや今後の目標設定など、改めて考える機会とします。

研修の様子

令和５年度に採用された職員８名（ZOOM 参加含む）が参加。入社から３ヶ月を振り返り自分たちの習得した知識や技術を再確認しながら、現場での実践力の向上につながるよう真剣に取り組んでいた。認知症ケアやリスクマネジメント、緊急時の対応では実際の事例をもとに講義を受けることで、より理解を深めることができたという意見が多く聞かれた。振り返りの中では参加者個々が仕事の状況を相互に情報交換し、６ケ月後のフォローアップ研修では、さらにレベルアップをし再会できるようにと、モチベーションを高め合っていた。